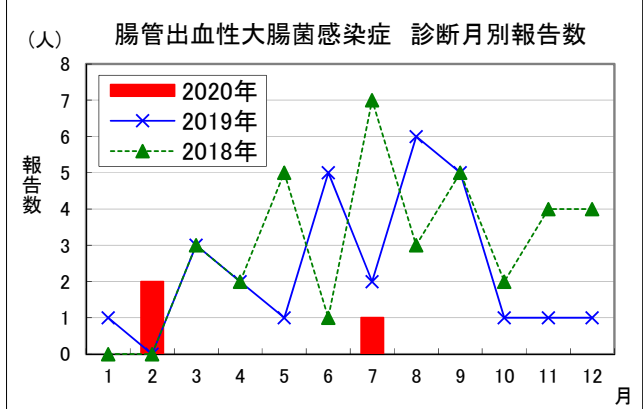


■全数把握対象疾患(結核、新型コロナウイルス感染症を除く)

三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症 1人(病型:患者、血清型:O74)の報告がありました。

五類感染症のアメーバ赤痢 1人(病型:腸管アメーバ症)、急性脳炎 1人(病原体:不明)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1人(血清群:G群)、梅毒 2人(病型:早期顕症梅毒Ⅱ期 1人、無症状病原体保有者 1人)の報告がありました。



■定点把握対象疾患

伝染性紅斑の報告が増加傾向でした。

無菌性髄膜炎の報告が1人(35-39歳)ありました。

○定点当たり報告数表(第29週 7月21日 13:00集計)

疾患名	定点当たり	推移	流行状況
インフルエンザ	0.00	→	—
RSウイルス感染症	0.00	→	—
咽頭結膜熱(プール熱)	0.07	→	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.30	→	—
感染性胃腸炎	3.37	→	—
水痘(みずぼうそう)	0.07	→	—
手足口病	0.11	→	—

疾患名	定点当たり	推移	流行状況
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.07	↑	—
突発性発しん	0.78	→	—
ヘルパンギーナ	0.07	→	—
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.07	→	—
急性出血性結膜炎	0.00	→	—
流行性角結膜炎(はやり目)	0.13	↓	—

※推移:2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少)

※流行状況:今週の流行状況を示します(過去5年間の同時期との比較)。(小さい←、☆、☆☆、☆☆☆→ 大きい)

※腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう!

例年、気温の上昇とともに、腸管出血性大腸菌感染症の報告が増加します。

腸管出血性大腸菌は、肉類や野菜などさまざまな食品から見つかっています。肉を焼く時は前後でトングや箸の使い分けを行い、中心部まで加熱しましょう。また、サラダなどに使う野菜や果物なども流水でよく洗いましょう。

予防方法などの詳細は、さいたま市感染症情報センターホームページ「腸管出血性大腸菌感染症(O157など)」をご覧ください。

感染症発生動向調査 週情報（患者報告数、定点当たり報告数、年齢階級）

（2020年第29週 令和2年7月13日～7月19日）

	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
インフルエンザ #1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20歳-						
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	2	0.07	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	0.30	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	2	2	-	-						
感染性胃腸炎	91	3.37	-	11	7	5	4	4	9	11	5	6	3	17	5	4						
水痘	2	0.07	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-						
手足口病	3	0.11	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	2	0.07	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	21	0.78	-	7	7	4	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	2	0.07	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
流行性耳下腺炎	2	0.07	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-						
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	報告数	定点当たり	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザによる入院患者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

#2 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く

#3 オウム病を除く

流行状況…  : 警報レベル、  : 注意報レベル

7月 21日 13:00 集計

## 全数把握対象疾患届出数(2020年)

類型	疾患名	2020年 第29週 受理分	2020年 累計 ※1	2019年 累計 ※1,2	疾患名	2020年 第29週 受理分	2020年 累計 ※1	2019年 累計 ※1,2
一類	エボラ出血熱	0	0	0	ペスト	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	マールブルグ病	0	0	0
	痘そう	0	0	0	ラッサ熱	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0				
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	0
	結核 ※3				鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	0				
三類	コレラ	0	0	0	腸チフス	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	2	パラチフス	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	1	3	28				
四類	E型肝炎	0	3	3	東部ウマ脳炎	0	0	0
	ウエストナイル熱	0	0	0	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	ニパウイルス感染症	0	0	0
	エキノコックス症	0	0	0	日本紅斑熱	0	0	0
	黄熱	0	0	0	日本脳炎	0	0	0
	オウム病	0	1	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	Bウイルス病	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	鼻疽	0	0	0
	キャサヌル森林病	0	0	0	ブルセラ症	0	0	0
	Q熱	0	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	発しんチフス	0	0	0
	サル痘	0	0	0	ボツリヌス症	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	1	0	マラリア	0	0	2
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	野兔病	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	ライム病	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	リッサウイルス感染症	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	リフトバレー熱	0	0	0
	炭疽	0	0	0	類鼻疽	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	レジオネラ症	0	6	15
つつが虫病	0	0	0	レプトスピラ症	0	0	1	
デング熱	0	0	2	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	
五類	アメーバ赤痢	1	8	8	侵襲性肺炎球菌感染症	0	9	43
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	0	1	3	水痘(入院例に限る)	0	4	4
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	2	11	先天性風しん症候群	0	0	0
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	0	1	3	梅毒	2	26	77
	急性脳炎	1	12	35	播種性クリプトコックス症	0	2	3
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	破傷風	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	5	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	10	9	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	6	14	百日咳	0	13	146
	ジアルジア症	0	0	0	風しん	0	1	29
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	4	6	麻しん	0	0	4
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0
新型インフルエンザ等感染症	規定されている疾患は、現在のところありません。							
指定感染症	新型コロナウイルス感染症 ※4							

2020年7月21日 15:00集計

※1 累計は診断日で集計しています。 ※2 2019年累計は速報値となっています。  
 ※3 結核は四半期ごとに集計し、さいたま市感染症情報センターホームページに掲載しています。  
 ※4 政令により令和2年2月1日から指定感染症に定められました。発生状況については、さいたま市ホームページに掲載しています。